

寛永諸家譜

未刻  
二卷之内

678

内閣文庫			
番號	和	20199	
冊數	186(176)		
函號	特	76	1





西川	有田	柳瀬	大業	大津	中田	石井	天羽	戸塚
	戸塚	松崎	栗屋	大谷	河西	竹内	岩波	勝屋
	墨村	松永	細	中比	根本	野口	前橋	築田

寛永諸家系圖傳

未勅

戸塚

忠家

淺草文庫

皇朝在東 生國幸以爲以  
 名補院殿沙女堂乃親族

つゝりかこれ

大指現 錫 鉤念

かゝりて忠を以てし

忠之

作事 生國回

くしめは忠を以てし

遊を以てし

名徳院殿より

平院殿の鑑以てなり

将水

元和九年

寛永元年

法名浄徳

之末

生國武彦

実を以てし

子なり

九

名徳院殿より一語久しくまづり御

小姓組の事をつとむ

寛永五年より一病死法名心良実宗

名次

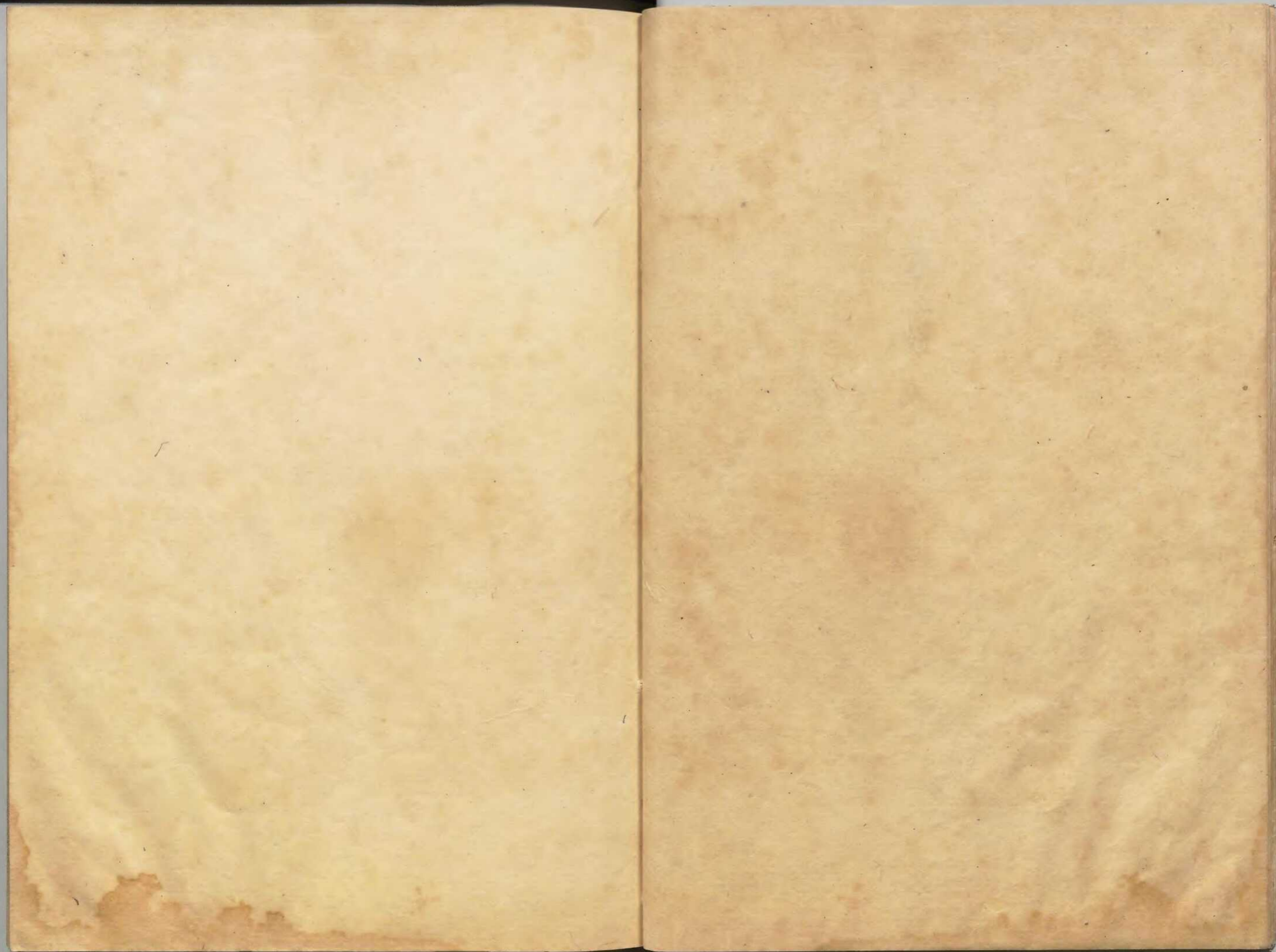
此十郎

いしけなうして父之末よりなは

寛永十四年より

將軍殿より一語久しくまづり

家乃致丸のうらゝ孫



某

晴屋

甚也昔痛 生國幸也

始多藏回終長一に之のら

大指現乃拘命一に之のら 在在事務痛

右晴一に之のら

某

長宗 長宗 生國 生國

こゝろを こゝろを 承氏 承氏 承氏 承氏 承氏 承氏 承氏 承氏

めさねく

大指 大指 現 現 湯 湯 月 月 一 一 一 一 一 一 一 一

歳六十 歳六十 也 也 一 一 一 一 一 一 一 一

正次 正次

勅 勅 在 在 爲 爲 生國 生國 武 武 亮 亮

左 左 衛 衛 院 院 殿 殿 下 下 一 一 一 一 一 一 一 一

將軍 將軍 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏

正次 正次

右 右 衛 衛 院 院 殿 殿

將軍 將軍 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏 承 承 氏 承氏

正次 正次

次 次 右 右 衛 衛 院 院 殿 殿 生國 生國 同 同 殿 殿



名酒院殿とよび  
將軍殿とよび

家乃紋格榎

某

栗田

栗田在栗田  
織田信長与信秀  
一信長

某

栗田生國尾張

織田信長おだのぶなが → 信之のぶの → 軍切ぐんきりあり

正勝まさかつ

米葉こめは 生國なまくに尾張おわり

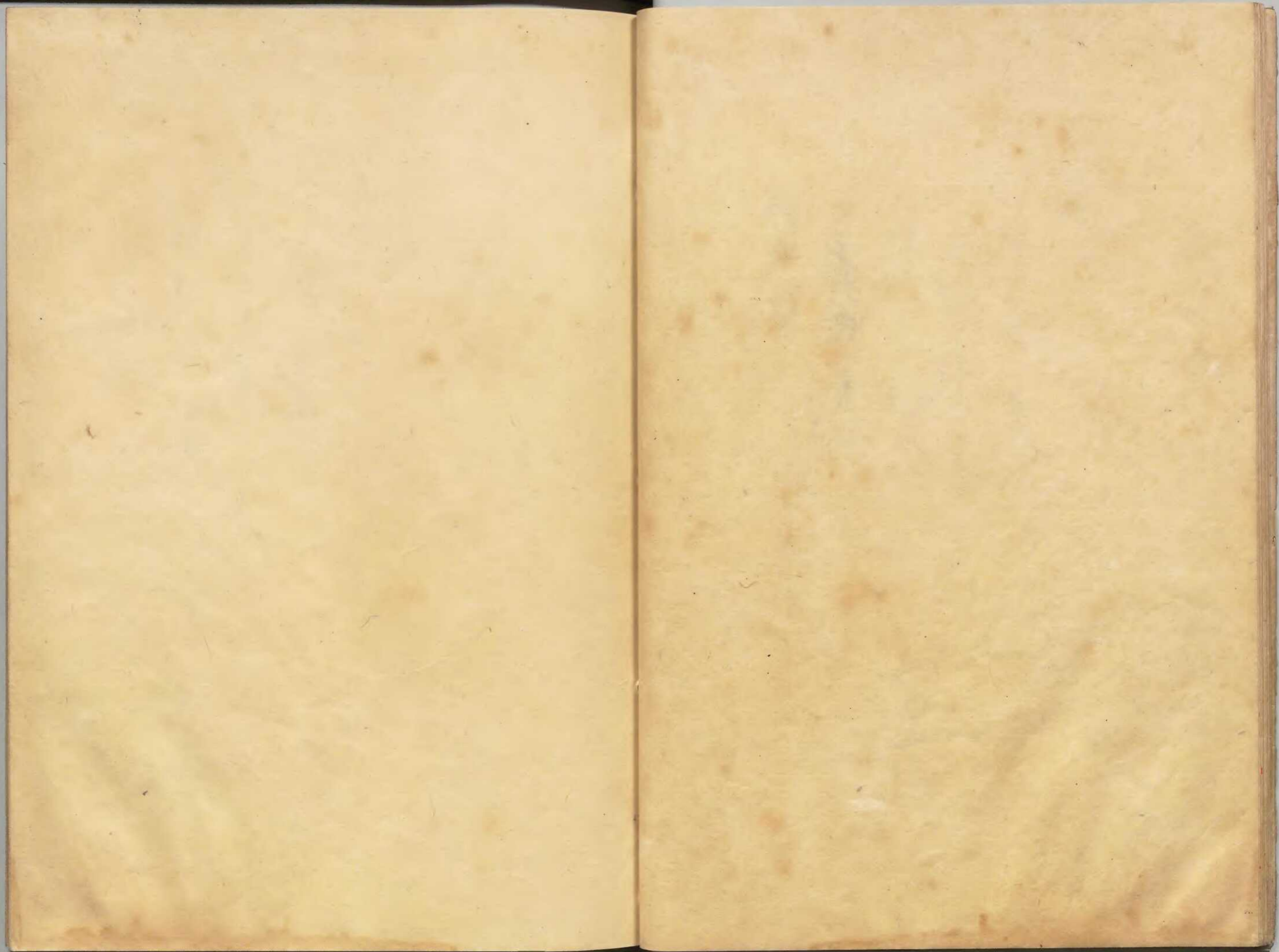
文祿ぶんりく → 文長ぶんちやう

大権現おほいけんげん → 福見ふくみ → 後のち

台徳院たいとくゐん殿のととび

將軍家しやうぐんや → 信之のぶの

家紋かもん 夢ゆめ 夢ゆめ



京次

天晴あまう

旧題 生國と総

百正十一年

大権現おほごんげん 錫見あきみ

法名源光

系<sup>ハ</sup>列

七<sup>ハ</sup>系<sup>ハ</sup>生國回<sup>ル</sup>

名<sup>ハ</sup>德<sup>ハ</sup>院<sup>ハ</sup>殿<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>云<sup>フ</sup>

將軍<sup>ハ</sup>家<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>法<sup>ハ</sup>人<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>云<sup>フ</sup>

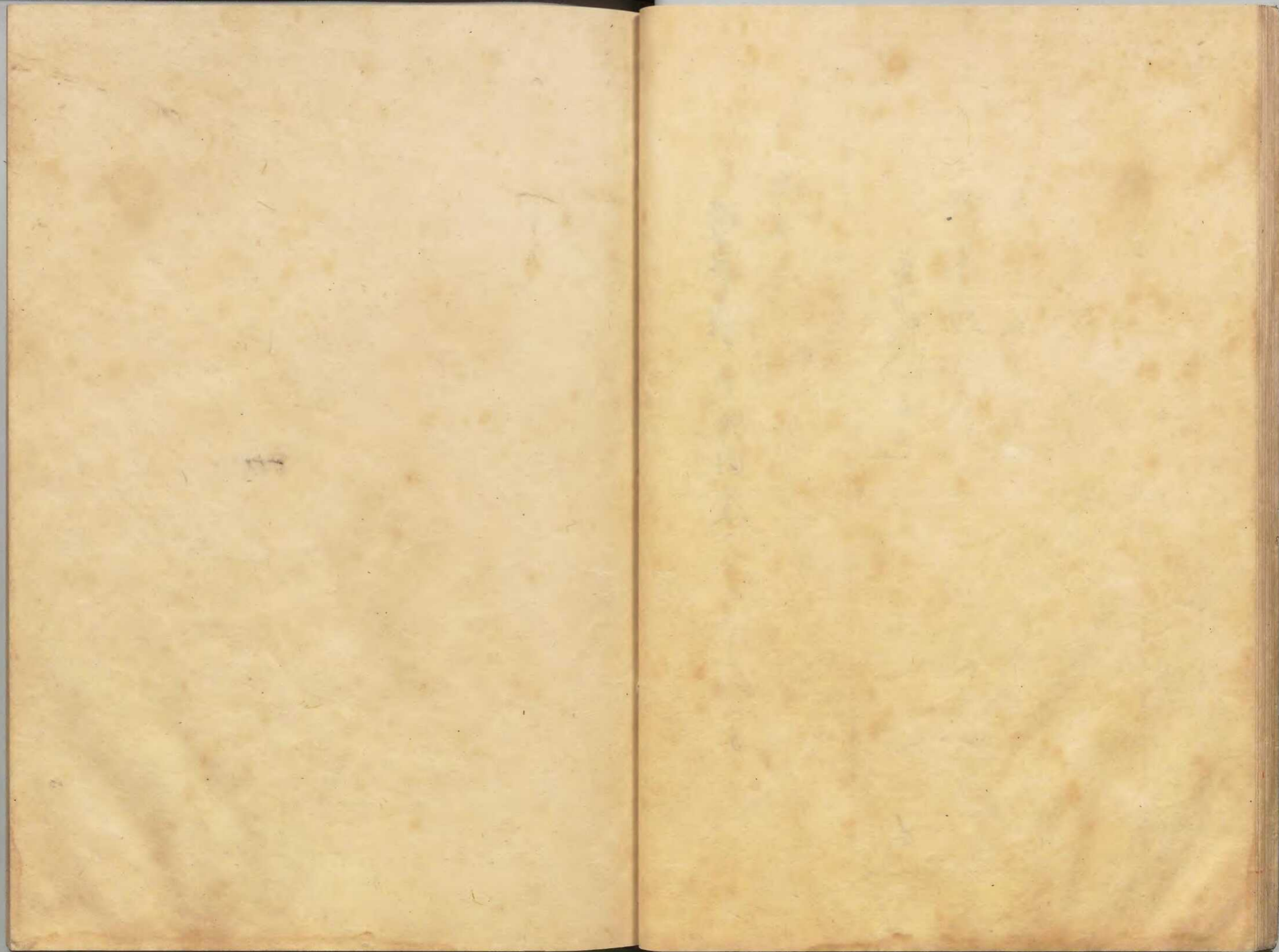
法<sup>ハ</sup>名<sup>ハ</sup>道<sup>ハ</sup>悟<sup>ハ</sup>

系<sup>ハ</sup>母

七<sup>ハ</sup>系<sup>ハ</sup>生國回<sup>ル</sup>

將軍<sup>ハ</sup>家<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>法<sup>ハ</sup>人<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>云<sup>フ</sup>

家<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>故<sup>ハ</sup>右<sup>ハ</sup>巴<sup>ハ</sup>



岩波

道定

代水物在東門 甘國軍裝  
小佐也新六了了

道定

七郎右衛門 生國軍裝



流落して山縣之郡兼許小富を  
一代永とわくく岩波と号と  
法名為蓮

道能

七郎右衛門 生國回あ

くくめき大久保石見さくく 厨人

孝長十い子

大権現くく 湯見くく ちりりのみ

名酒流殿

將軍家くく 流くくくくまらる

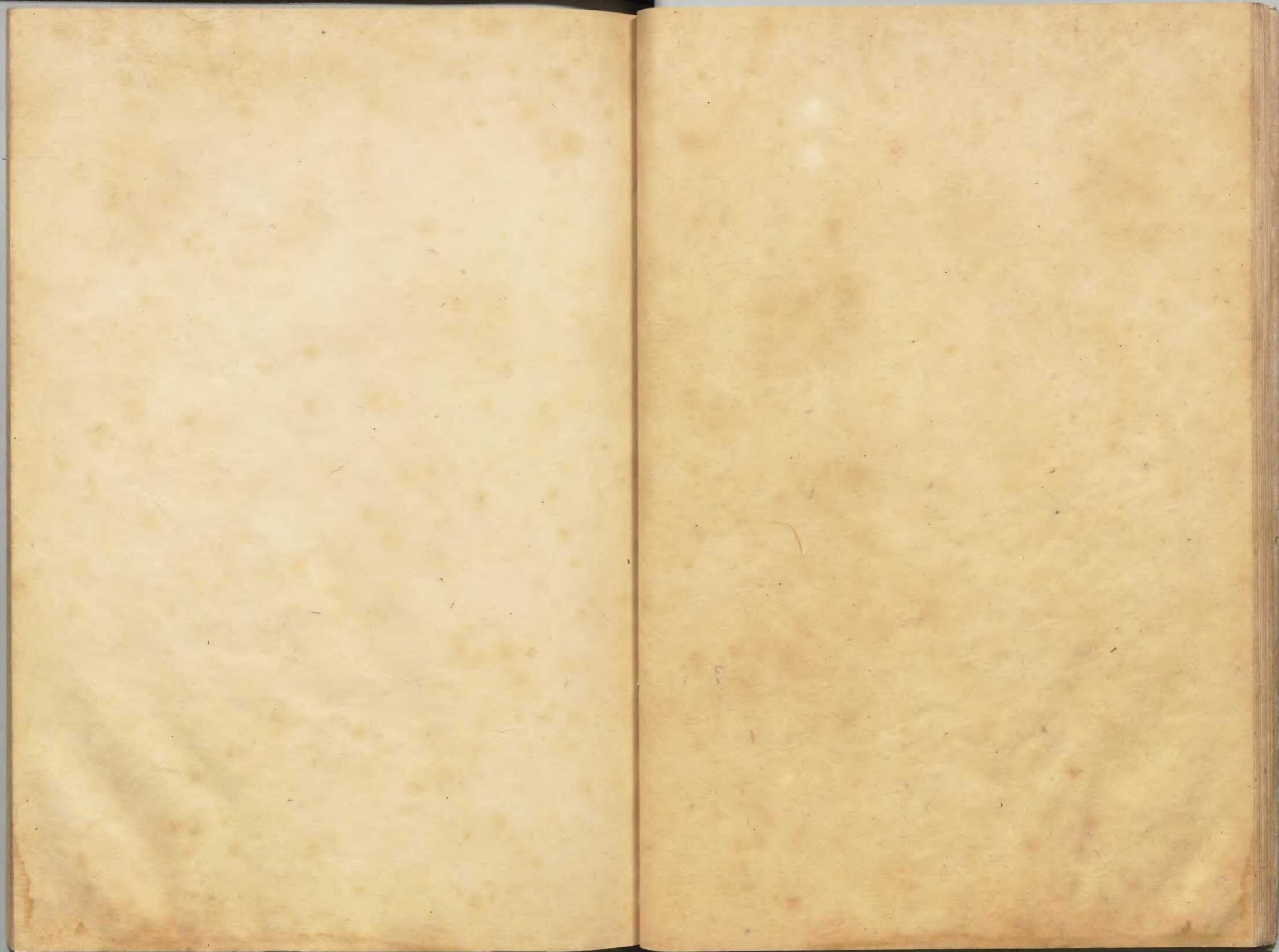
法名道曜

道秀

七郎右衛門 生國回あ

將軍家くく 流くくくくまらる

家の紋丸くくく藤







家乃級ふんしんしん

石井

重家

右羽書 生國安房

里見安房守

重家

生國安房

元和元年

名瀬院殿

名

名

家乃級丸の

集

竹内

五十六集

生國之河下條

大權現乃命乃命之酒井乃命在處射

右次乃命魔下乃命射



某

五十六年春 廿四日

天晴

源右衛門

三月十日 卯時

大権現 一 諸人 一 諸人 一 諸人 一 諸人

白徳院殿 一 諸人

將軍家 一 諸人 一 諸人 一 諸人

吉助

又右衛門 生國後河

實中次主税物 子なり 吉助 吉助

て子なり

寛永五年

將軍家 一 諸人 一 諸人 一 諸人

竹内家の紋 たけうち  
丸内よしの茶栢 まるうち  
中沢家の紋 なかつさ  
七右衛門の扇 しちゑもん

某

竹内

右右右 生國之河  
酒井將監 一 氏

信次

上右右 生國同氏

大指現とよむ

台徳院殿

將軍家より一信久しくまう

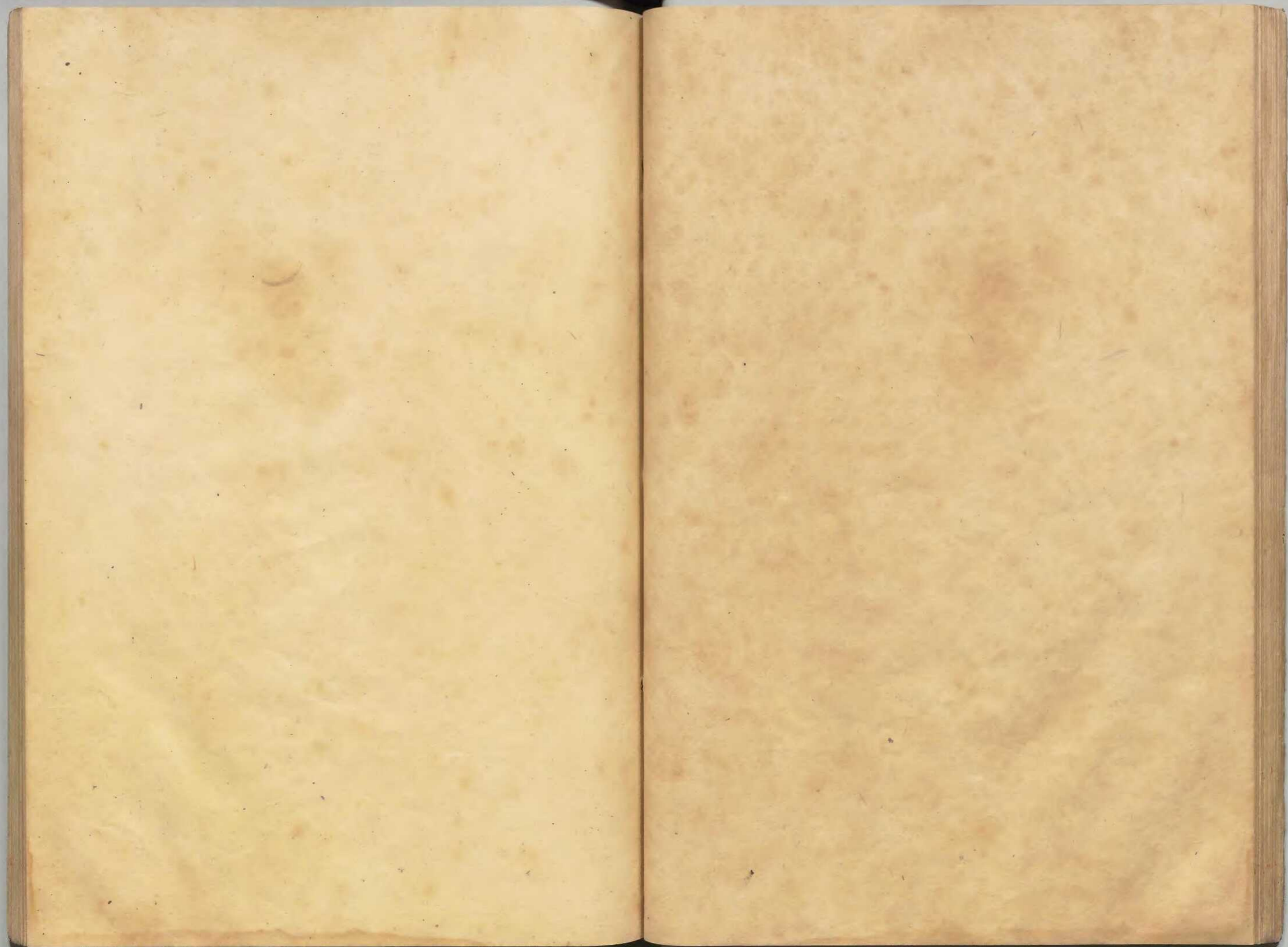
信吉

二郎左衛門 生國武彦

將軍家より一信久しくまうのいふ

とよむ

家乃紋丸のうらよ木尻



野の口

某

甚次郎

生國の河

大権現ノ流ノ久ノ三ノ三ノ三ノ

某

清左衛門

生國の河

大指現ししは人々をすまひふ  
是又長六年二十九歳より之病死

成次

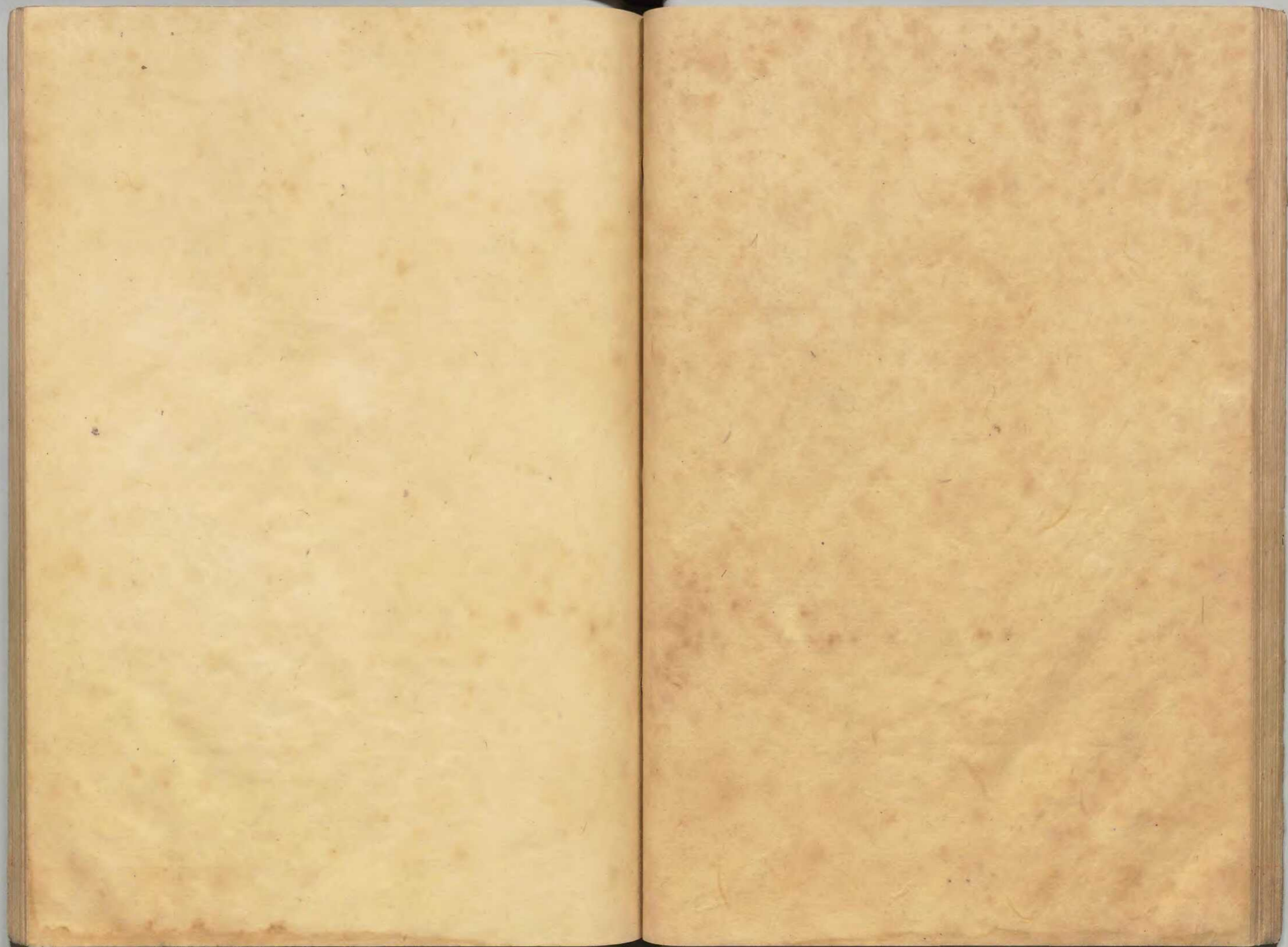
若くは生國同家

是又長十四年より

名徳院殿よりはるまじりはわきん

將軍殿よりはるまじりふ

家乃紋  
根源





正次

甚右衛門 生國寺

大指現一話人一之まろり八十二  
歳一して病死法名字

中回

刻次

甚右衛門 牛國相換

大指現ししは人しつゝまうり也十六

歳少して病死法名宗亮

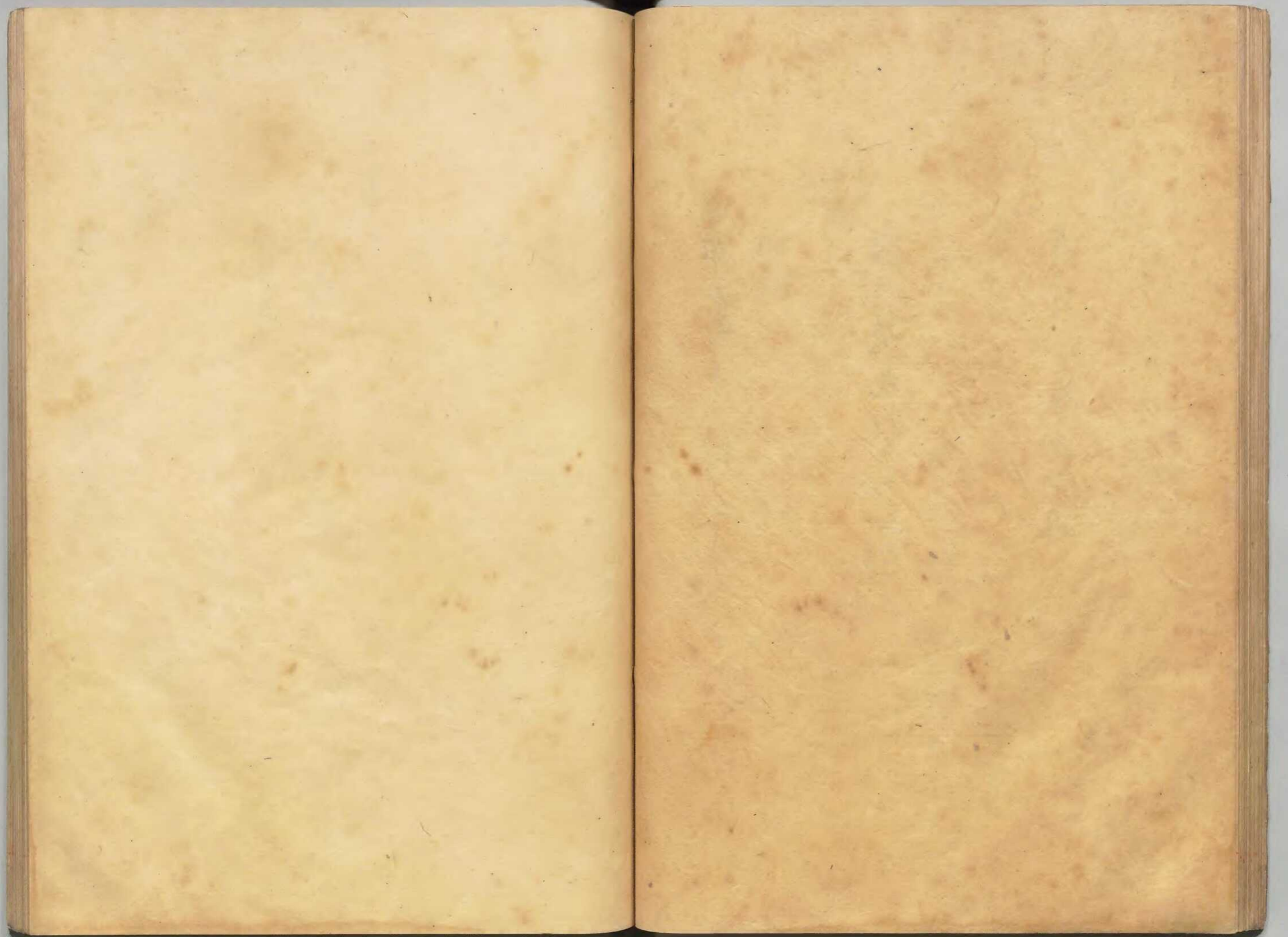
正吉

助作

名座院殿とよむ

將軍家しは人しつゝまうり

家乃紋丸のうら之巴



河

某

對馬

生國甲斐

武田信虎

了

滿秀

肥後

生國同前

武田信玄及勝頼より信玄法名考

親秀

孫右衛門 生國甲斐

天正十年より

大指現より信玄より信玄

天正十年より

親秀

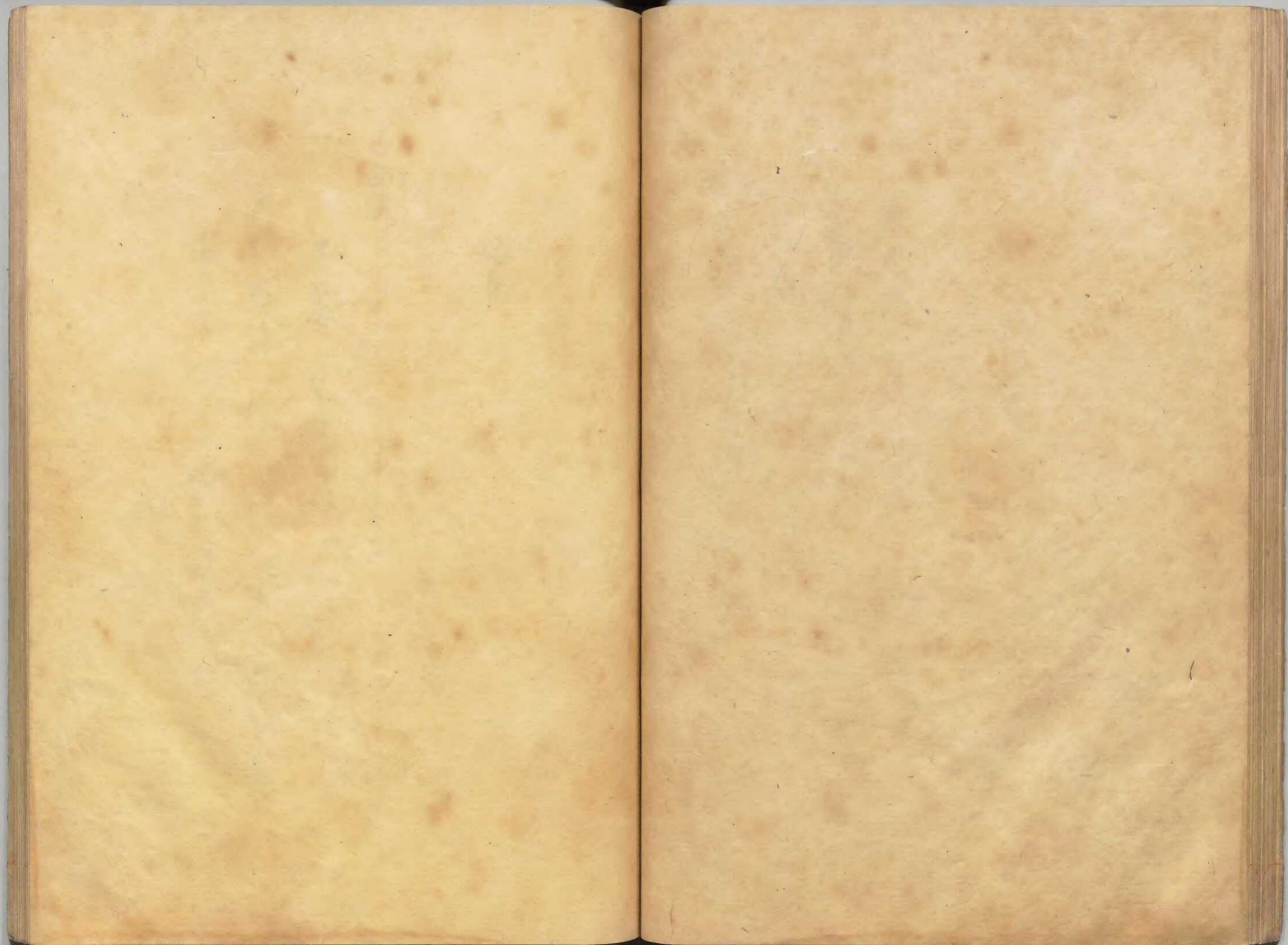
長九郎 生國同前

大指現

長九郎殿より

將軍より信玄より信玄

家八段七本骨の解



正成

之業 生國相摺

大禮現了 経久 了了 了了 了了 了了  
歳了 了了 了了 了了 了了 了了 了了 了了 了了 了了

根本

歳次

又昔来 生國同家

台座設殿ごごび

將軍家よりいへるまゝ

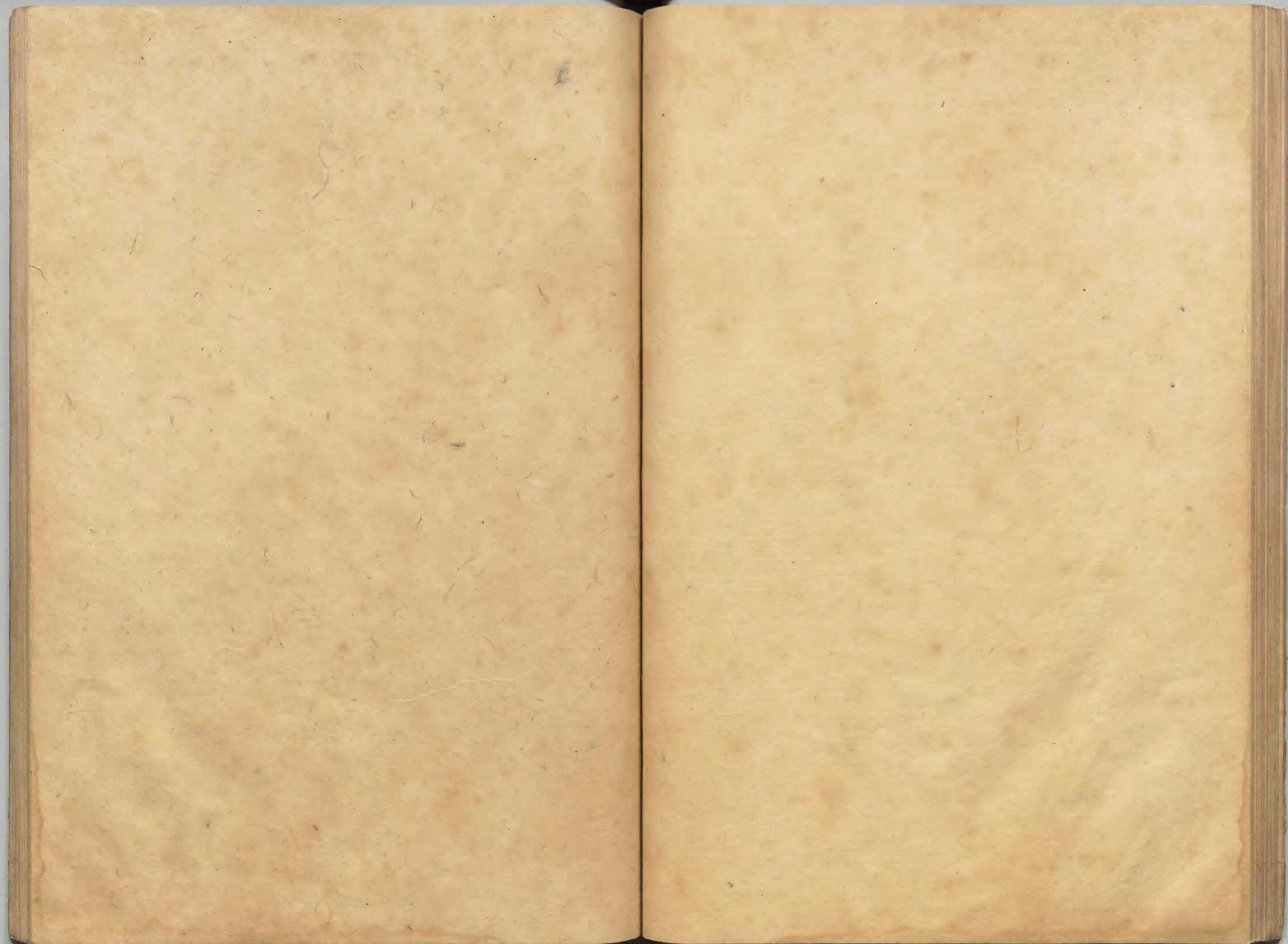
成重

久平 生國武彦

將軍家よりいへるまゝ

家乃紋 葛の葉





大津おおつ

親次おやぢ

但馬たにま

生國之河なまくにのくわ

小糸氏おほいわた 氏うぢ 氏うぢ 氏うぢ

勝心かつしん

卯左うづさ 氏うぢ

仁徳院殿... 清久...

勝重

助十郎

生國武藏

仁徳院殿... 將軍家... 清久...

清久

重利

又七郎

生國同前

寛永十三年十一月

將軍家... 賜... 清久...

同十九日

清久... 生國...

清書院... 清久...

家乃致蛇目

家乃致蛇目



大旨

重次

清名集

生國傳

清名集

定次

清名集

生國傳

大指現

台座院殿より清く入つてまづつたふ  
歳よりして病死法名呪香

定利

清業生國相持

台座院殿より

將軍家よりつて入つて清く

家乃紋本

中比

光正

澤名

生國語河

大権現ノ一話ノ一ノ一ノ一

光勝

光次郎 生國語河

天正十八年

大権現開東山入國の由りて修す

江戸より修す

名徳院殿より修す

後水尾君の樂賀列利を跋よ入

御り

賀列より修す法名惣書

光運

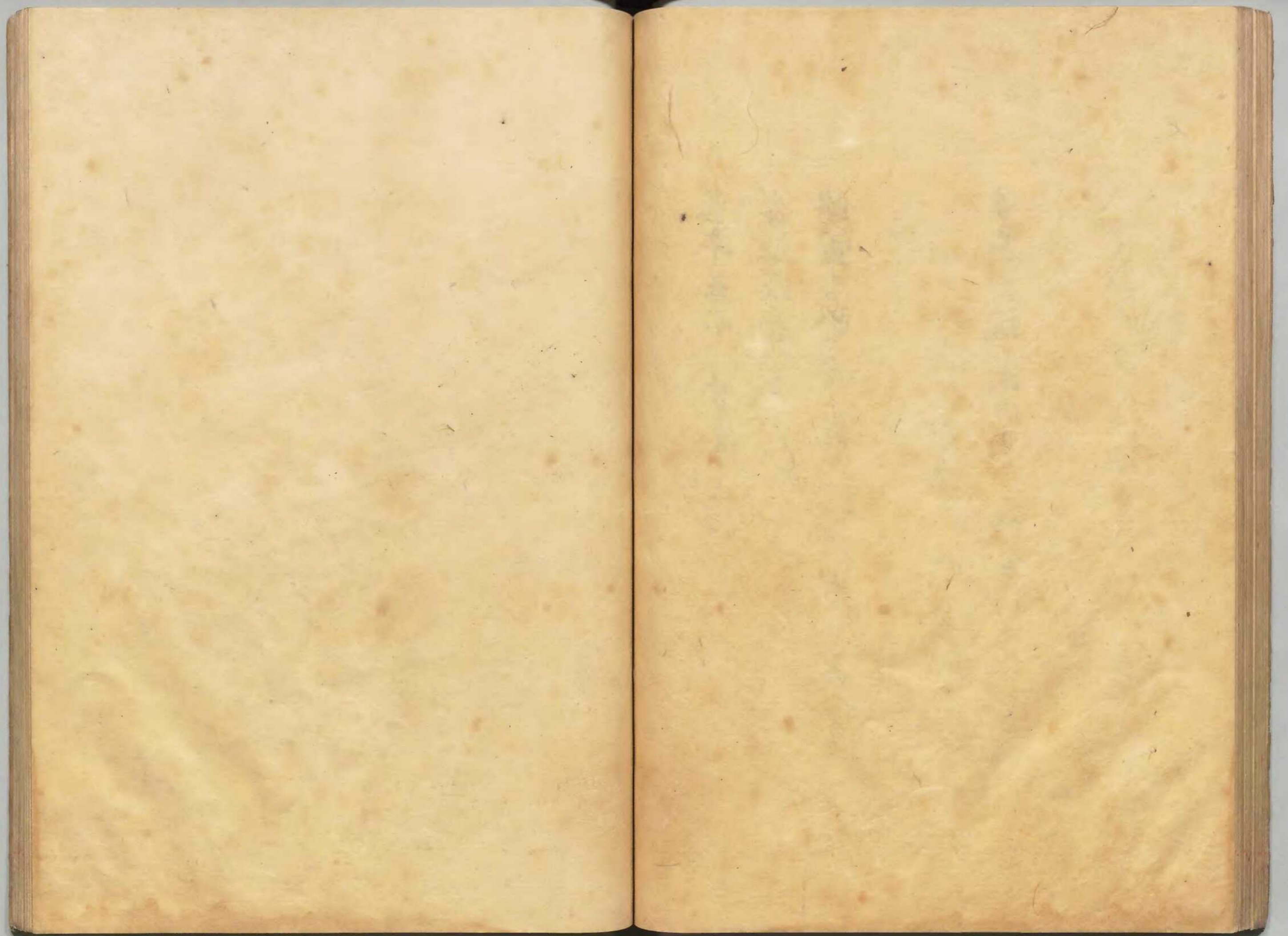
平素生

名徳院殿より

將軍殿より修す

家乃致丸のうらよ横之川





大業 おほいなり

昌次 まさつぐ

福正七郎在集 生玉甲斐  
武田信虎 信玄 信名在阿

有能 あつち

福正七郎

生玉甲斐

信虎乃命しんこ一系いっけい高室たかむろ  
一系いっけい法名陵ほつな阿あ

昌徳まさとく

稻山清基いなやま生國甲斐なまくに

切きりのめして父有能ちちあり一系いっけいふれ  
うのら甲斐かみ多礼たらい乃なりとくとくののま  
て祖母いそ一系いっけいふれひとあり  
く加藤かとうををいいとといいはくはく物解陣ものげいじんと

清もむきと守物しずもむきとまももの報うけ一系いっけいひてひておと  
ここののいいへへ一系いっけい流りゅう浪なみ一系いっけい甲斐かみ一系いっけい  
ゆり大久保石見おおくぼいしとと一系いっけいとと  
法名相徳ほつなさうとく

重徳しげとく

大業六系おほいげ生國甲斐なまくに

代よくく稻山いなやまとと称なづとと重徳しげとく一系いっけい一系いっけいとと  
外祖そと父ちち大業市系おほいげ重子しげこととたたりりたたれ



象卷

某

市右衛門 生國彦

廣忠のち一 清一のち一 清一のち一 清一のち一

大権現のち一 清一のち一 清一のち一 清一のち一

元龜二年二月のち一 福元のち一

中 清名のち一

右林

市右衛門 生國を以て

大指現よむ

名進院殿より清くくまらる

長八年十月六十二歳ありて

病死 法名道休

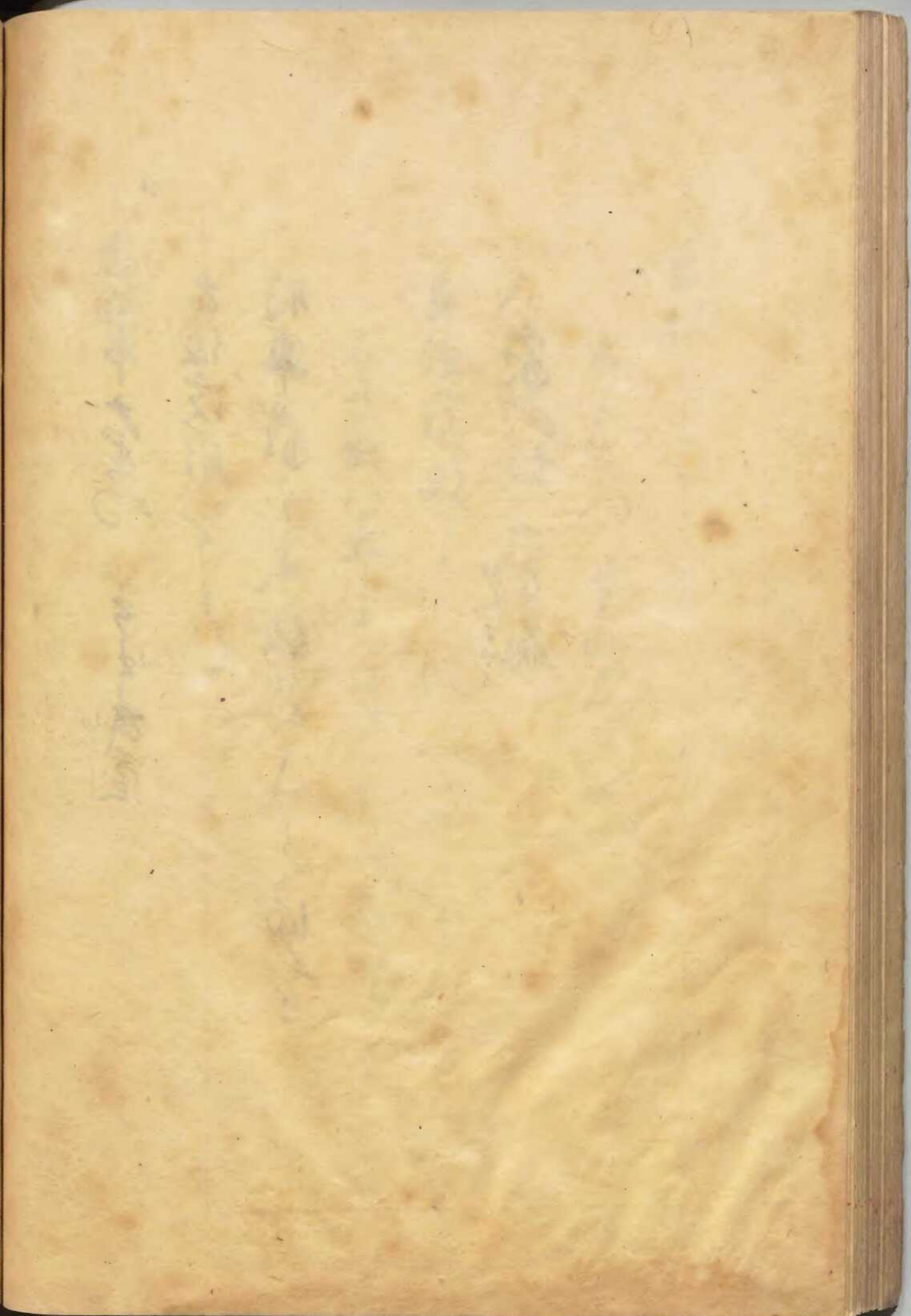
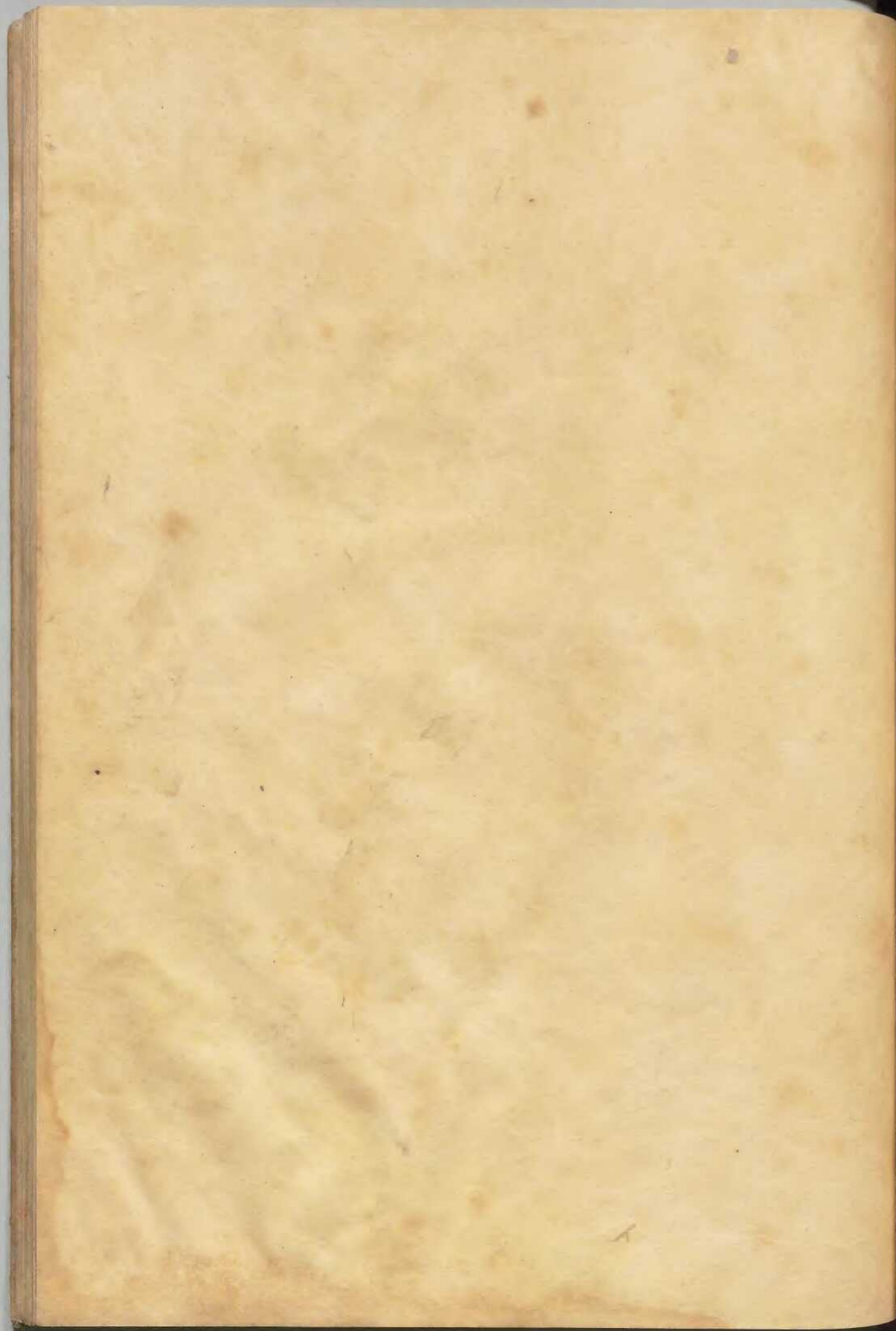
忠時

市右衛門 生国武蔵

名進院殿よむ

將軍殿より清くくまらる

家入級一本願



某

山川<sup>やまがは</sup>表<sup>あ</sup>介<sup>い</sup> 生國<sup>なまくに</sup>表<sup>あ</sup>介<sup>い</sup>

道<sup>みち</sup>本<sup>もと</sup>橋<sup>はし</sup>津<sup>つ</sup>寺<sup>てら</sup>村<sup>むら</sup>重<sup>しげ</sup> 一<sup>ひと</sup> 行<sup>ゆ</sup>ふ<sup>ら</sup>の<sup>ら</sup>流<sup>りゅう</sup>落<sup>らく</sup>

一<sup>ひと</sup> 之<sup>これ</sup>列<sup>れつ</sup> 一<sup>ひと</sup> 行<sup>ゆ</sup>ふ<sup>ら</sup>

細<sup>こ</sup>



一

細田志求 生國之河

いづれゆへに 備前志求 志求 志求 志求

流源

寛永十六年 一 志求 志求 志求

志求

細市郎志求 生國之河 志求

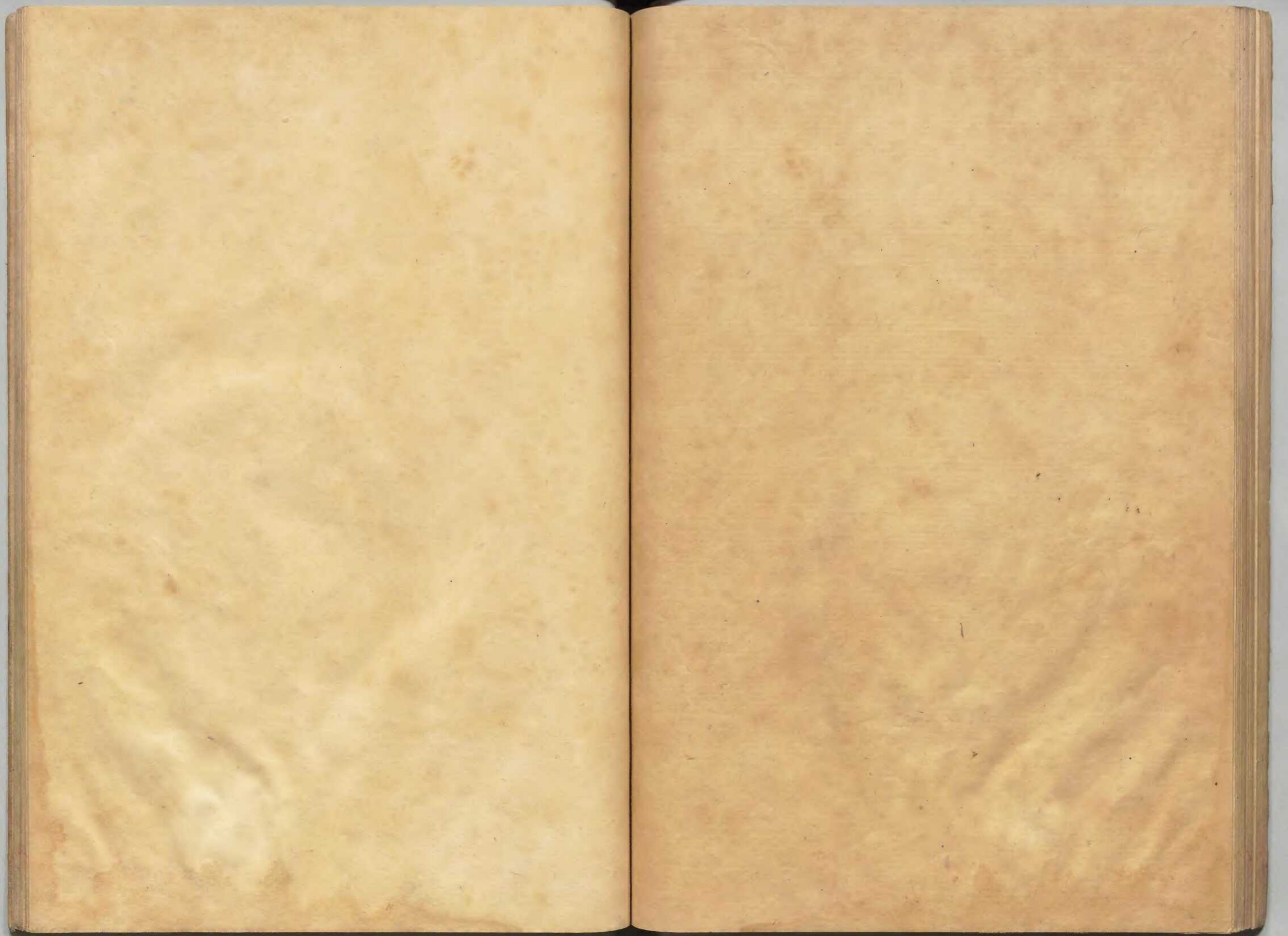
寛永十年

名徳院殿

將軍志求 志求 志求 志求

つとむ

家乃級 根藤 志求



柳ヤナギ  
漱ス

某

道ミチ  
悦ユキ

生國ナニクニ  
之ノ  
河カハ

大オホ  
指ササ  
現マシ

一ヒト  
一ヒト  
一ヒト  
一ヒト  
一ヒト  
一ヒト  
一ヒト

病ヤミ  
死シ

友トモ  
信シブ

喜ウレシ  
八ヤチ  
節フシ

大樽現とよび

名鑑院殿一清くくまらるる病氣

友清ともきよ

七年 生國武藏なまくにぶさ

將軍殿一清くくまらるる病氣

の彼と清とむ

家乃紋之頭けのうのまねのあたまた包

某

松崎

最助 生國之

清康 君と

大権現 一 清人 之 事 之 事 之 事

重次

次郎兼 生國同家

廣忠ひろたけとよむ

大権現

名徳院殿なとくゐんより清くよてまら

元長十八年十月十日よるよ病ひょう記

重政

左平次 生國同家

大権現おほごんげんとよむ

名徳院殿なとくゐんより清くよてまら

元和四年十月十日よるよ病ひょう記

重良

左平次 生國ひくに後河

寛永六年十月よるよ

將軍殿しやうぐんより清くよてまらよるよ病ひょう記

此の書は...  
...  
...

此乃致丸の...  
...  
...

● 某

松永 まつなが

平石 ひらいし

甘國之河

清康 きよかみ 君 きみ 一 いち 流 なが 之 の 水 みづ 乃 なり 流 なが 死 し

某

源 みなもと

甘國 あまのくに



大権現より流るるまはり三方原  
よりよみく討死

勝正

源義 中園回

大権現より流るるまはり三方原

正重

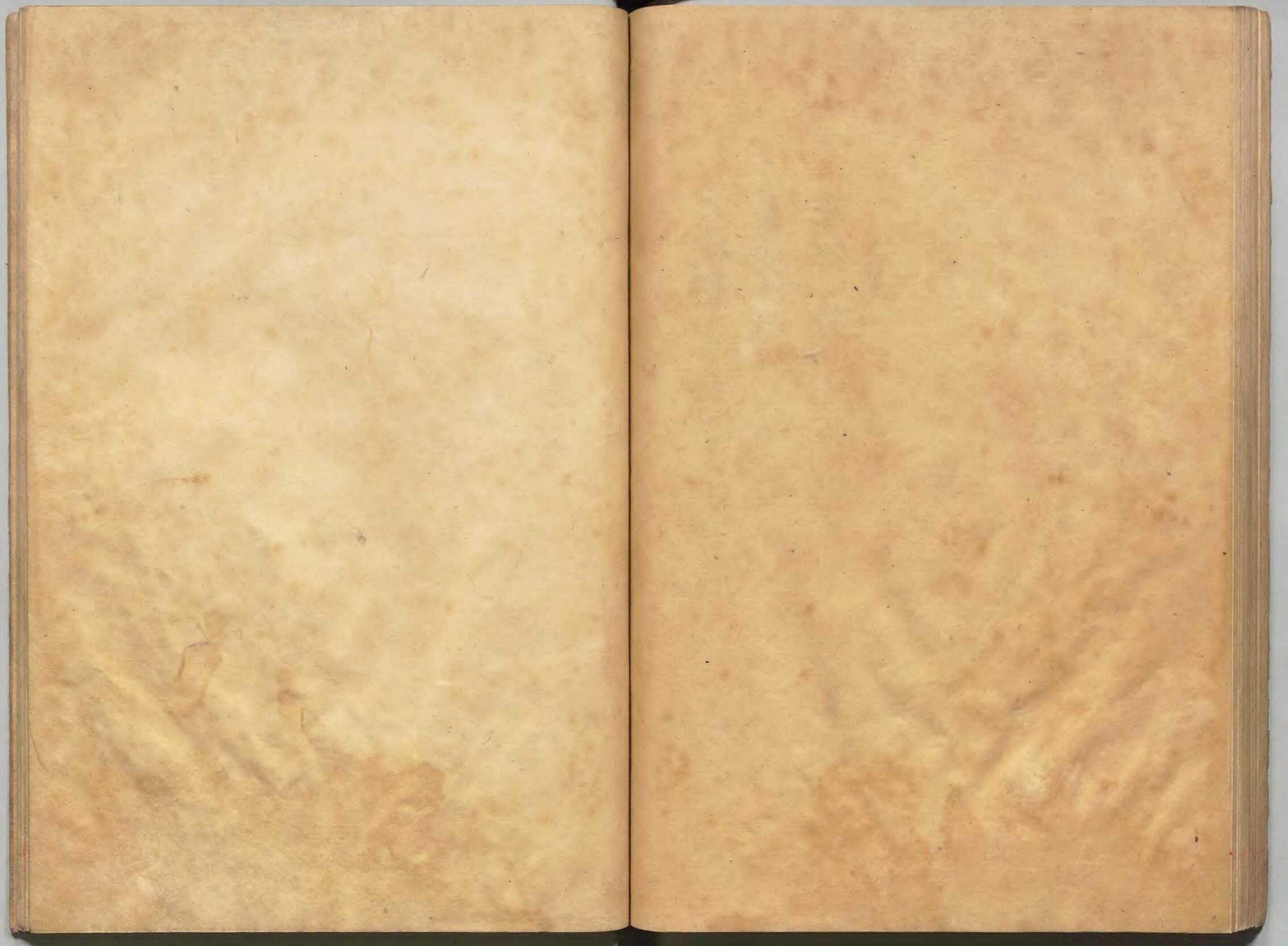
大島右衛門 中園武義

大権現とよび

名徳院殿

將軍の御願より流るるまはり御願  
乃後とよび

家の紋本丸



有田

名貞

九郎兼生國澄の

とらの今川氏貞より一法之後列  
没落のちかきれて

人権現とよび

名徳院殿より一法之ちかきまらる

受長十三子七十之歳少て病記

貞久

九郎兼生國相

大権現

名酒院殿

將軍家より清久をよまうり由也

武代清久の正名解乃地と

貞吉

友兼生國武兼

寛永九年

將軍家より清久をよまうり

家乃故丸のうらよ大



戸浪

某

筑前守 生國下総  
関宿乃城 柳田 一 決ふ

織成

九七番 生國同家

小差系と野分一ノ流不坂下総國  
二つま一ノ隠居と

織定

山之所 生國同家

大指現越谷沖鷹將乃と現吉田村

とひくやいされうのら

名酒院敏よとび

將軍家一ノ流人一ノくまら

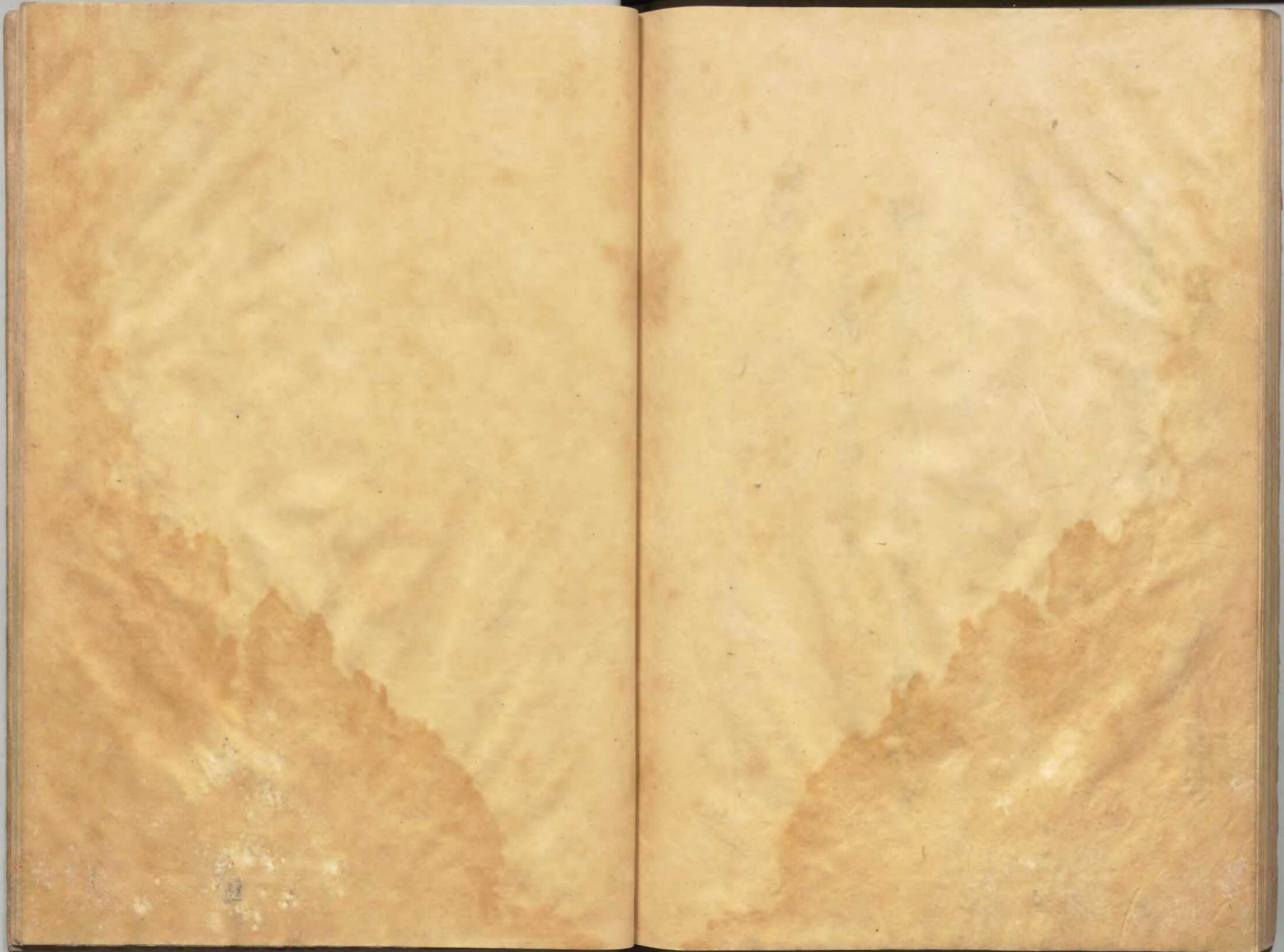
織次

山之所 生國武藏

將軍家一ノ流人一ノくまらと切米

と

家入級萬の葉





某

里村

沐次郎

細川右京右衛門守國一子

昌休

宗牧子 連欽乃宗通

源氏物語抄十巻とありて一休閑  
とたぐ

天文二十一年十一月ありて記と兼平二

昌元

連欽乃系通 法橋より叙と

称名院云際より源氏物語と傳受に

秀吉より領地百とありてあり

交長ハハ七月女写るよ通と歳字と

昌元

連欽の系通 法眼より叙と

類字名取和欽集七巻とありてあり

大権現より領地百とありてあり

寛永水虫より正月廿九の由舎と勅

同十一年二月ありて通と歳六十一

昌程

法橋りやう一いち叙ぎよと

將軍家しやうじゆんよりより依よ代だい百ひやく名なととすすまま

正月しやうげつ廿にじふ日にちのの清きよ舎しゃ毎まい日にちににししるるととすす

河川

親善寺、河川、東本那、戸満あり

上人

秀範

父、河川、生那、八幡、河川、孫右馬、唐

た、り、媛、秀、範、の、身、代、親、族、と、り、

お、續、河、川、家、紋、を、丸

秀文ひいでん

上人 秀範ひでゆきの姪ひいでんなり  
織田信長おだのぶながより一書いっしょふ

賢珠けんじゆ

上人 秀文ひいでんの姪ひいでんなり  
信長のぶながより一書いっしょ秀吉ひでよしより一書いっしょふ

玲霽れいせい

阿闍利あせり 賢珠けんじゆの弟あせりなり  
秀吉ひでよしより一書いっしょふ

朝賢あさけん

上人 玲霽れいせいの姪あさけんなり  
秀吉ひでよしより一書いっしょふ  
秀吉ひでよし五年 関ヶ原せきがはらの陣のりより一書いっしょふ

大権現オホケンゲン一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
とひく村越ムラゴシ越物ゴシモノ一々ヒツヒツ命イミ一々ヒツヒツ船フネ  
一々ヒツヒツ秀吉ヒデヨシ討ウチのノ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
一々ヒツヒツ舟フネ乃ナリ云イハレ役ヤクとト一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
同十九年ドウジュウユウネン元和ゲンワ名ナ一々ヒツヒツ大坂オオサカ度タビ度タビ陣ジン  
一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ  
名ナ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

將軍家シヤンクンケ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

長久保チカホ真マコト

船フネ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

寛永ケンエイ十二年ジュウニニネン一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

將軍シヤンクン一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

代タイ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ

一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ一々ヒツヒツ







